

令和 7 年度新発田市下水道事業経営戦略の進捗管理について

1. 下水道事業経営戦略と進捗管理（モニタリング）

(1) 経営戦略の進捗管理実施の趣旨について

経営戦略は、国が公営企業の健全化策の一つとして市町村に策定を義務付けているもので、事業実施計画と投資財政計画によって効率的で健全な企業経営を目指すことを目的としています。

本市では、平成 30 年度に「新発田市下水道事業経営戦略」及び「新発田市農業集落排水事業経営戦略」を策定し、その後、平成 31 年 4 月に下水道事業が地方公営企業法の一部を適用したことに伴って経営戦略の見直しを行い、本市で実施している 4 事業（公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、小規模集合排水処理事業）を対象とした「新発田市下水道事業経営戦略」を令和 6 年度に改定しました。

国が経営戦略の策定にあたって作成したガイドラインにおいて、経営戦略の進捗管理（モニタリング）と計画の見直し（ローリング）を行うことを求めており、進捗管理は毎年度、見直しについては少なくとも 5 年に 1 回の頻度で行うこととされています。これは、計画の進捗管理を確認していくことにより、経営方針の見直しや改善策の実施につなげ、より実効性のある経営計画としていくというものです。

(2) モニタリングの方法

モニタリングについては、以下の①～③の方法により分析を行いました。

- ① 「2. 下水道事業の概況」において、経営戦略で示した下水道処理等に係る人口の推移、使用料収入や汚水処理に係る値の比較検証を行いました。
- ② 「3. 投資・財政計画の計画値と決算値の比較」において令和 7 年度決算値（合算会計）と経営戦略の投資・財政計画に記した計画値との比較を行い、「4. 投資・財政計画の主な項目の推移」において主な項目ごとの検証を行いました。
- ③ ①②の内容を踏まえ、「5. 経営戦略の目標指標の状況」において経営戦略に設定した目標指標の達成状況を検証し、最後に「6. 総括」として全体のまとめを行いました。

2. 下水道事業の概況

(1)人口（行政人口及び污水处理に係る人口）の推移について

①行政人口

住民基本台帳に基づく人口

(単位:人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	91,370	90,464	89,558	88,652	87,746
実績値	91,157	90,219			

②污水处理人口

下水道、農業集落排水施設等、合併処理浄化槽等の污水处理施設の処理人口

(単位:人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	78,248	78,550	79,064	79,098	79,164
実績値	78,638	79,206			

③污水处理人口（集合処理に係る分）

②污水处理人口のうち、下水道、農業集落排水施設等の集合処理に係る処理人口

(単位:人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	70,645	71,147	71,861	72,096	72,362
実績値	70,690	71,286			

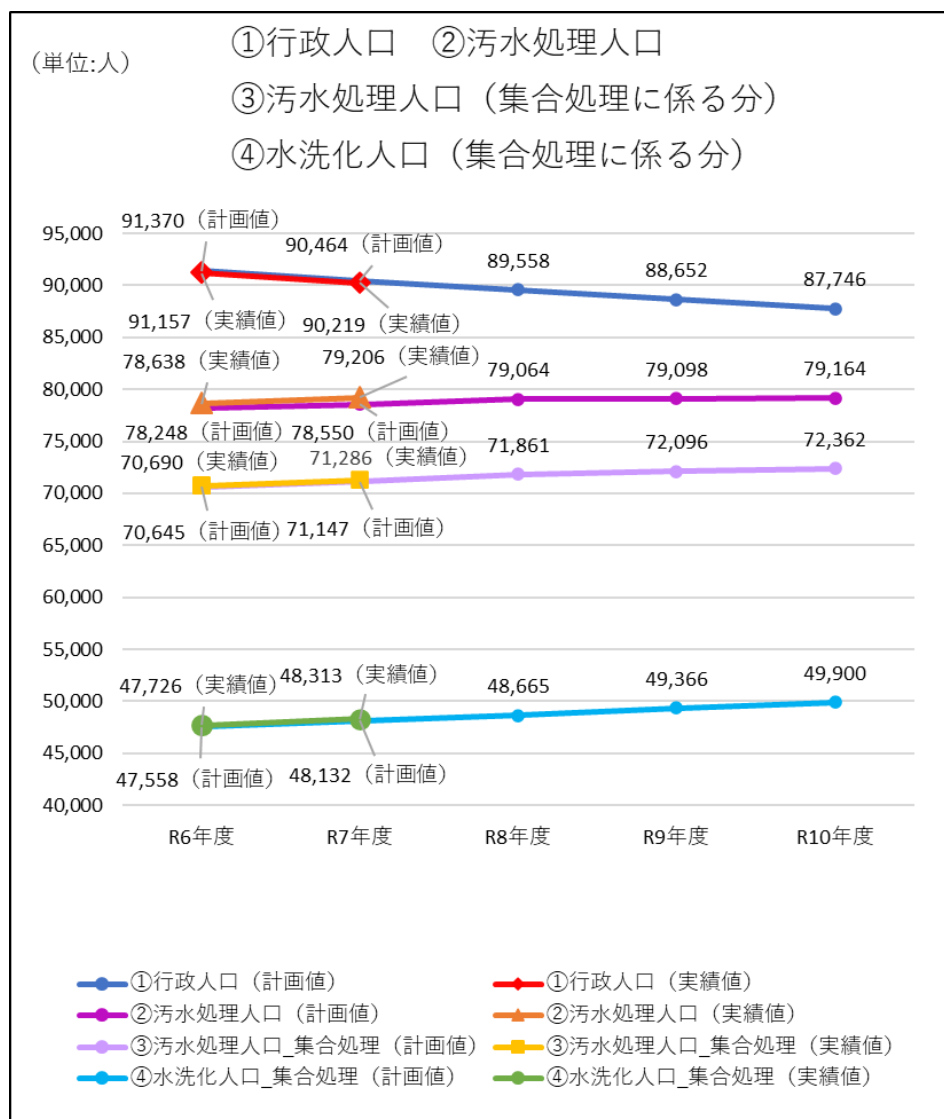
④水洗化人口（集合処理に係る分）

下水道、農業集落排水施設等の集合処理に接続している人口

(単位:人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値（合算）	47,558	48,132	48,665	49,366	49,900
※内訳（公共）	36,060	36,536	37,755	38,408	38,900
（特環）	7,345	7,480	7,573	7,650	7,723
（農排）	4,133	4,096	3,317	3,288	3,258
（小排）	20	20	20	20	19
実績値（合算）	47,726	48,313			
※内訳（公共）	36,142	36,760			
（特環）	7,488	7,549			
（農排）	4,074	3,982			
（小排）	22	22			

※①～④とも年度末時点の値



【説明】

行政人口が計画値を下回る一方で、汚水処理人口と水洗化人口は計画値を上回りました。下水道未普及整備工事の進展に伴い整備区域が拡大しているため、水洗化人口も増加しています。全体としては、おおむね計画値と同水準の値ですが、人口数は使用料収入の増減に影響するため、引き続き今後の推移を注視していきます。

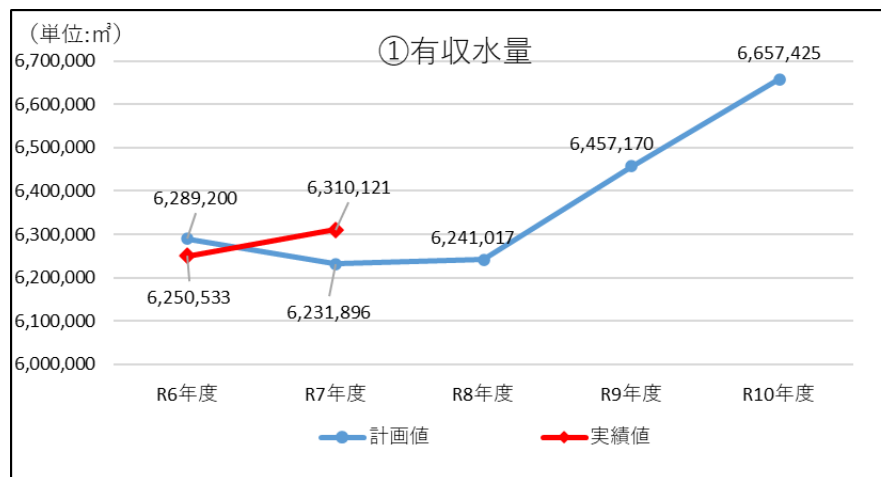
(2)有収水量、使用料収入、使用料単価及び污水处理原価について

①有収水量

下水道使用料の徴収対象となる汚水の量

(単位:m³)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	6,289,200	6,231,896	6,241,017	6,457,170	6,657,425
※内訳 (公共)	4,491,359	4,492,023	4,486,966	4,773,004	4,969,272
(特環)	1,309,992	1,323,246	1,341,135	1,349,464	1,356,360
(農排)	485,812	414,590	410,879	332,736	329,827
(小排)	2,037	2,037	2,037	1,967	1,967
実績値 (合算)	6,250,533	6,310,121			
※内訳 (公共)	4,533,696	4,650,935			
(特環)	1,272,709	1,259,118			
(農排)	442,221	398,239			
(小排)	1,907	1,829			



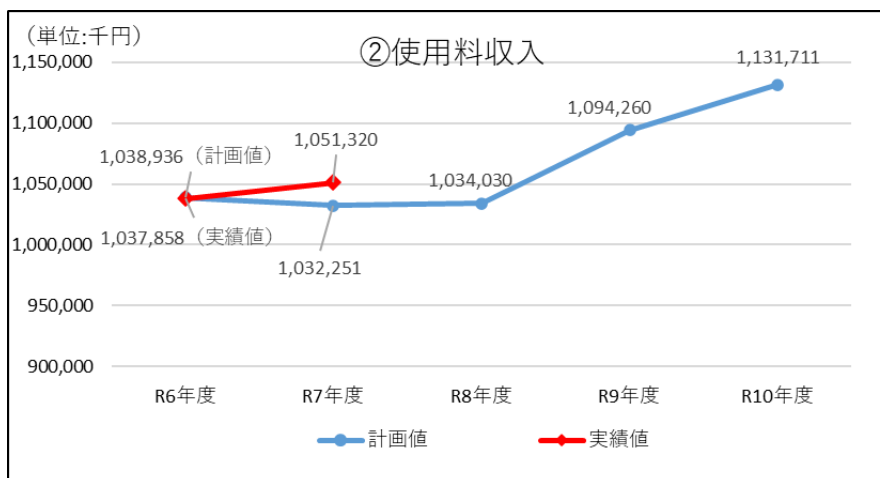
②使用料収入

下水道使用料、農業集落排水施設使用料等の収入状況

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	1,038,936	1,032,251	1,034,030	1,094,260	1,131,711
※内訳 (公共)	771,051	771,165	770,297	816,559	853,384
(特環)	207,048	209,121	212,230	225,581	226,660
(農排)	60,514	51,642	51,180	51,808	51,355
(小排)	323	323	323	312	312
実績値 (合算)	1,037,858	1,051,320			
※内訳 (公共)	780,608	801,052			
(特環)	201,941	200,033			
(農排)	55,007	49,948			
(小排)	302	287			

※税抜額



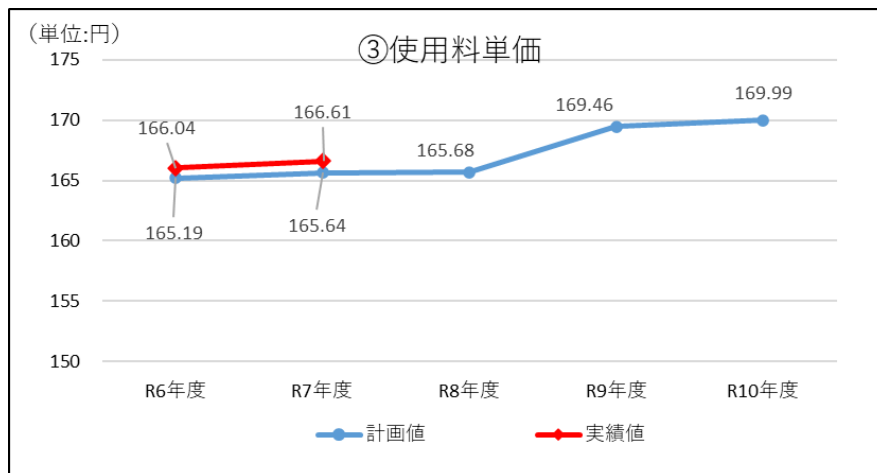
③使用料単価

1 m³あたりの下水道及び農業集落排水施設使用料

(単位:円/m³)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	165.19	165.64	165.68	169.46	169.99
※内訳 (公共)	171.67	171.67	171.67	171.08	171.73
(特環)	158.05	158.04	158.25	167.16	167.11
(農排)	124.56	124.56	124.56	155.70	155.70
(小排)	158.57	158.57	158.57	158.62	158.62
実績値 (合算)	166.04	166.61			
※内訳 (公共)	172.18	172.23			
(特環)	158.67	158.87			
(農排)	124.39	125.42			
(小排)	158.36	156.92			

※税抜額



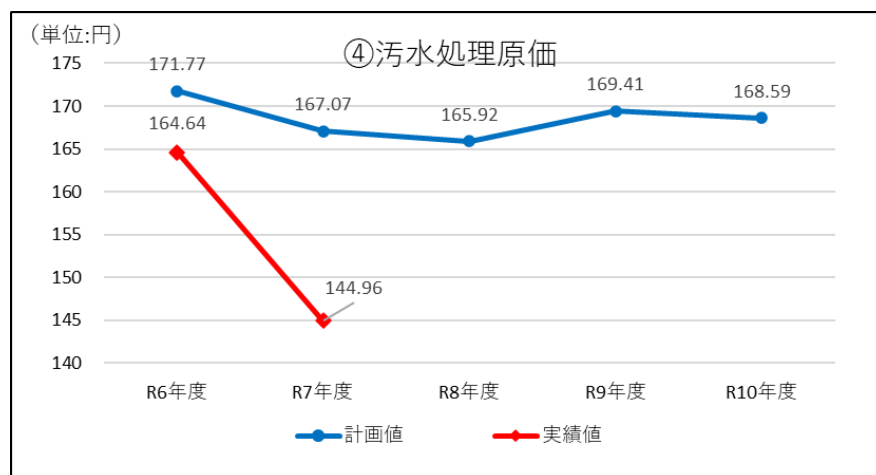
④汚水処理原価

1 m³の汚水を処理するのに要する費用

(単位:円/m³)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	171.77	167.07	165.92	169.41	168.59
※内訳 (公共)	171.70	168.96	167.26	169.29	168.20
(特環)	165.34	158.04	158.25	167.17	167.11
(農排)	189.46	175.09	176.00	179.73	180.23
(小排)	243.00	244.97	245.95	236.91	232.33
実績値 (合算)	164.64	144.96			
※内訳 (公共)	165.15	140.19			
(特環)	162.50	160.00			
(農排)	164.94	152.28			
(小排)	310.44	320.94			

※税抜額



【説明】

有収水量と使用料収入は、前年度実績値との比較で増加し、計画値も上回りました。事業別にみた場合、特定環境保全公共下水道では温泉旅館事業者の使用水量が想定を下回った影響等により、農業集落排水施設では区域内の人口減少が想定以上に進んだ影響等によりそれぞれ計画値を下回った一方で、公共下水道では大口事業者の使用量が想定より伸びた影響等により計画値を上回りました。計画では水洗化人口の増に伴い使用水量と使用料の漸増を見込んでいるため、引き続き今後の実績値の推移を注視していきます。

使用料単価は、計画値を上回りました。公共下水道での使用水量及び使用料収入が堅調に推移したことなどが影響していると考えられます。

汚水処理原価は計画値を下回りました。これは、汚水処理原価の基礎となる汚水処理費の算定において、公費負担額（基準内繰入金）が計画値より大きくなったことに伴い、汚水処理費が想定より少なくなったことが主な要因です。使用料単価を下回ったため現状で原価割れは生じていません。

3. 投資・財政計画の計画値と決算値の比較

令和7年度決算値（合算会計）について、経営戦略の投資・財政計画に示した計画値と比較したものが次の表です。なお、4つの事業（公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、小規模集合排水処理）ごとの値については、末尾の資料を参照してください。

(1)収益的収支

合算会計

(単位:千円)

区 分 \ 年 度			R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)	
収 益 的 収 入	収 益	1. 営 業 収 益 (A)	1,043,312	1,062,468	19,156	
		(1) 料 金 収 入	1,032,251	1,051,320	19,069	
		(2) 受託工事収益 (B)				
		(3) そ の 他	11,061	11,148	87	
	2. 営 業 外 収 益	2,513,089	2,604,789	91,700		
	入	(1) 補 助 金	775,008	857,843	82,835	
		他 会 計 補 助 金	772,798	855,143	82,345	
		そ の 他 補 助 金	2,210	2,700	490	
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	1,738,081	1,742,640	4,559	
		(3) そ の 他		4,306	4,306	
		収 入 計 (C)	3,556,401	3,667,257	110,856	
収 支 的 支 出		収 支	1. 営 業 費 用	3,019,378	2,985,538	△ 33,840
	(1) 職 員 給 与 費			114,598	123,519	8,921
			基 本 給	52,089	56,452	4,363
			退 職 給 付 費	8,504	10,133	1,629
		そ の 他	54,005	56,934	2,929	
	(2) 経 費		680,341	664,369	△ 15,972	
		動 力 費	60,319	54,721	△ 5,598	
		修 繕 費	4,144	3,681	△ 463	
		材 料 費	123	134	11	
		そ の 他	615,755	605,833	△ 9,922	
	(3) 減 価 償 却 費	2,224,439	2,197,650	△ 26,789		
支 出	2. 営 業 外 費 用	521,556	524,837	3,281		
	(1) 支 払 利 息	518,791	523,226	4,435		
	(2) そ の 他	2,765	1,611	△ 1,154		
	支 出 計 (D)	3,540,934	3,510,375	△ 30,559		
	経 常 損 益 (C)－(D) (E)	15,467	156,882	141,415		
特 別 利 益 (F)				27,798	27,798	
特 別 損 失 (G)				1,567	1,567	
特 別 損 益 (F)－(G) (H)				26,231	26,231	
当年度純利益（又は純損失） (E)+(H)			15,467	183,113	167,646	

(2)資本的収支

合算会計

(単位:千円)

年 度			R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)
区 分					
資本的 収支	資本的 収入	1. 企 業 債	2,977,100	2,414,100	△ 563,000
		うち 資 本 費 平 準 化 債	400,000	270,000	△ 130,000
		2. 他 会 計 出 資 金			
		3. 他 会 計 補 助 金	1,317,081	1,235,574	△ 81,507
		4. 他 会 計 負 担 金			
		5. 他 会 計 借 入 金			
		6. 国（都道府県）補助金	1,019,620	709,254	△ 310,366
		7. 固 定 資 産 売 却 代 金			
		8. 工 事 負 担 金	89,600	120,287	30,687
		9. そ の 他	10,000	10,000	
		計 (A)	5,413,401	4,489,215	△ 924,186
		(A)のうち翌年度へ繰り越さ れる支出の財源充当額 (B)			
		純 計 (A)－(B) (C)	5,413,401	4,489,215	△ 924,186
	資本的 支出	1. 建 設 改 良 費	3,780,855	3,102,034	△ 678,821
		うち 職 員 給 与 費	92,078	78,252	△ 13,826
		2. 企 業 債 償 還 金	2,135,407	2,132,376	△ 3,031
		3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金			
		4. 他 会 計 へ の 支 出 金			
		5. そ の 他			
		計 (D)	5,916,262	5,234,410	△ 681,852
資本的収入額が資本的支出額に 不足する額 (D)－(C) (E)			502,861	745,195	242,334
補 填 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	329,407	531,478	202,071	
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額				
	3. 積 立 金 取 崩 し 額		80,000	80,000	
	4. 繰 越 工 事 資 金				
	5. そ の 他	173,454	133,717	△ 39,737	
	計 (F)	502,861	745,195	242,334	
補 填 財 源 不 足 額 (E)－(F)					
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)					
企 業 債 残 高 (H)			40,144,908	38,993,140	△ 1,151,768

○他会計繰入金

年 度		R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差 引 (B－A)
区 分				
収 益 的 収 支 分		783,859	866,246	82,387
	うち 基 準 内 繰 入 金	761,682	854,241	92,559
	うち 基 準 外 繰 入 金	22,177	12,005	△ 10,172
資 本 的 収 支 分		1,317,081	1,235,574	△ 81,507
	うち 基 準 内 繰 入 金	181,605	182,332	727
	うち 基 準 外 繰 入 金	1,135,476	1,053,242	△ 82,234
合 計		2,100,940	2,101,820	880

4. 投資・財政計画の主な項目の推移

(1)収益的収支

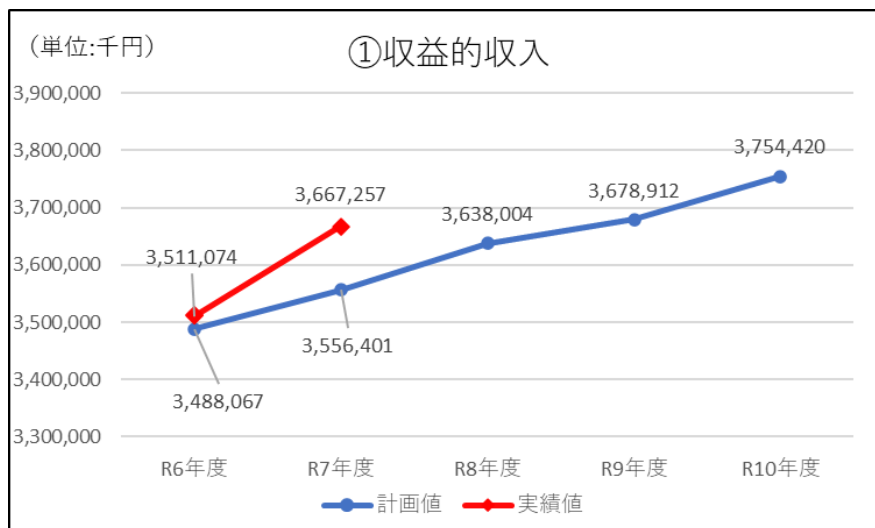
①収益的収入

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	3,488,067	3,556,401	3,638,004	3,678,912	3,754,420
※内訳 (公共)	2,216,969	2,346,626	2,410,562	2,494,459	2,570,080
(特環)	881,107	879,154	889,869	898,175	903,523
(農排)	386,756	327,424	334,414	283,173	277,751
(小排)	3,235	3,197	3,159	3,105	3,066
実績値 (合算)	3,511,074	3,667,257			
※内訳 (公共)	2,243,361	2,467,575			
(特環)	885,449	871,321			
(農排)	378,928	325,073			
(小排)	3,336	3,288			

※税抜額

※使用料収入の推移については、「2. 下水道事業の概況」(2)の②使用料収入 (5 ページ) を参照



【説明】

収益的収入については、計画値を上回りました。使用料収入が計画値を上回ったほか、営業外収益でも他会計補助金などが計画値を上回ったことで、収益的収入全体として計画値を上回りました。

②収益的支出

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	3,482,992	3,540,934	3,614,907	3,667,074	3,733,538
※内訳 (公共)	2,214,828	2,332,202	2,388,523	2,483,720	2,550,301
(特環)	878,649	878,162	888,878	897,183	902,531
(農排)	386,284	327,374	334,349	283,067	277,641
(小排)	3,231	3,196	3,157	3,104	3,065
実績値 (合算)	3,461,889	3,510,375			
※内訳 (公共)	2,198,886	2,310,351			
(特環)	880,793	872,004			
(農排)	378,882	324,737			
(小排)	3,328	3,283			

※税抜額

※収益的支出の内訳

経費 (施設の維持管理経費)

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	673,060	680,341	689,808	698,894	707,705
※内訳 (公共)	389,501	403,506	409,153	427,170	434,446
(特環)	201,198	206,234	210,329	213,923	215,812
(農排)	81,885	70,120	69,843	57,330	56,973
(小排)	476	481	483	471	474
実績値 (合算)	658,373	664,369			
※内訳 (公共)	377,221	390,790			
(特環)	202,433	200,215			
(農排)	78,154	72,805			
(小排)	565	559			

支払利息

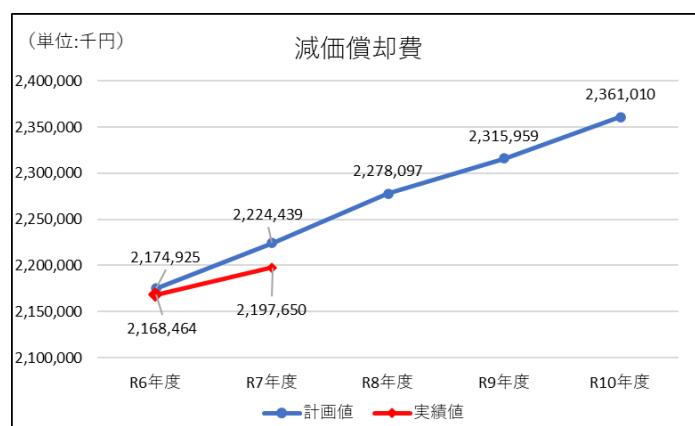
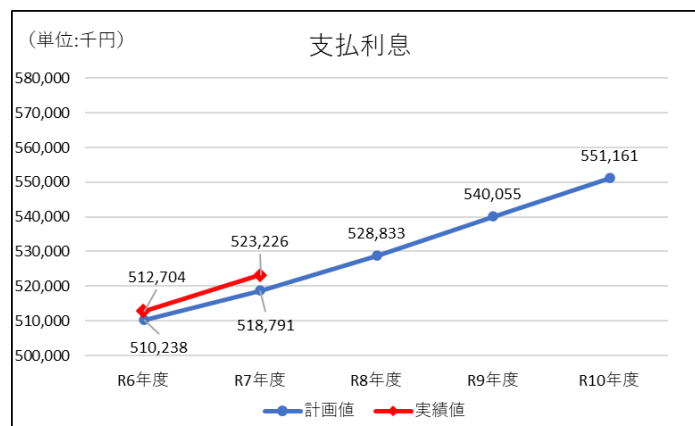
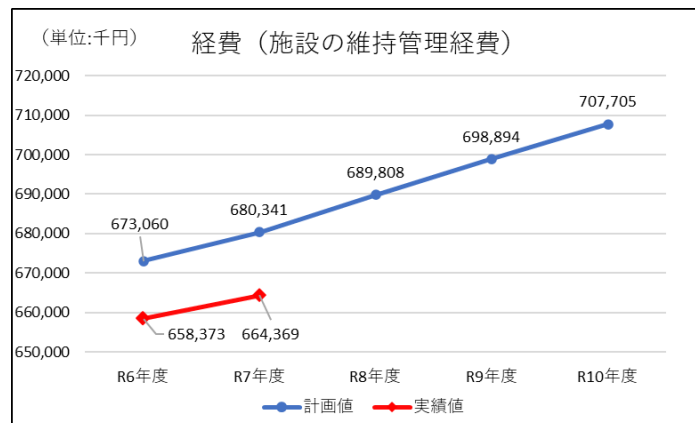
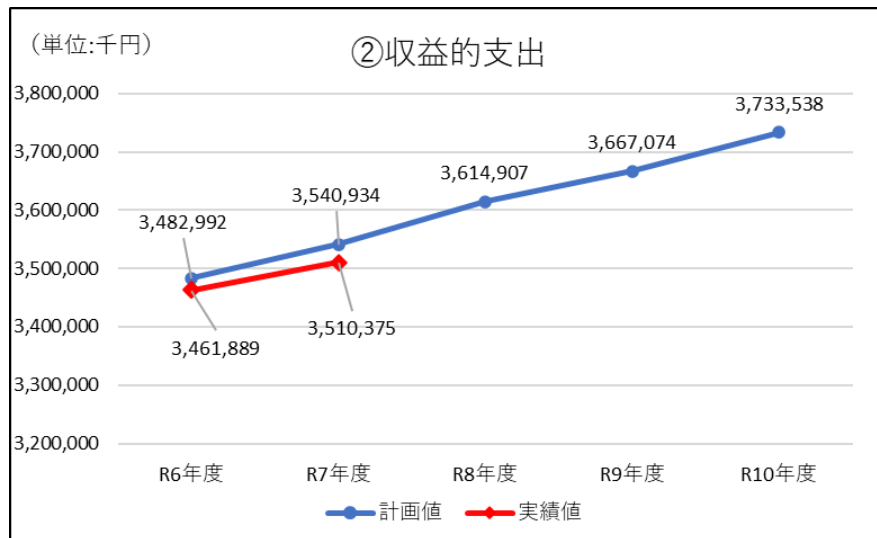
(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	510,238	518,791	528,833	540,055	551,161
※内訳 (公共)	349,317	368,594	380,435	395,538	408,870
(特環)	116,048	115,325	116,885	118,450	118,921
(農排)	44,088	34,127	30,809	25,404	22,749
(小排)	785	745	704	663	621
実績値 (合算)	512,704	523,226			
※内訳 (公共)	351,381	370,240			
(特環)	116,379	117,882			
(農排)	44,159	34,359			
(小排)	785	745			

減価償却費

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	2,174,925	2,224,439	2,278,097	2,315,959	2,361,010
※内訳 (公共)	1,353,740	1,445,238	1,483,265	1,551,345	1,595,822
(特環)	561,395	556,595	561,656	564,802	567,790
(農排)	257,839	220,655	231,225	197,861	195,447
(小排)	1,951	1,951	1,951	1,951	1,951
実績値 (合算)	2,168,464	2,197,650			
※内訳 (公共)	1,350,756	1,425,316			
(特環)	560,763	553,718			
(農排)	254,994	216,665			
(小排)	1,951	1,951			



【説明】

収益的支出については、計画値を下回りました。要素別に見ると、支出のうち経費（施設の維持管理経費）と減価償却費が計画値を下回ったことが主な要因です。ただし、物価や人件費が上昇傾向にあり、現在の上昇率が経営戦略策定の試算に想定していた率（動力費・修繕費・委託料の経費：上昇率 0.74％／年、人件費：上昇率 0.1％／年）を上回っていることから、今後の経費（施設の維持管理経費）の動向を注視していく必要があります。

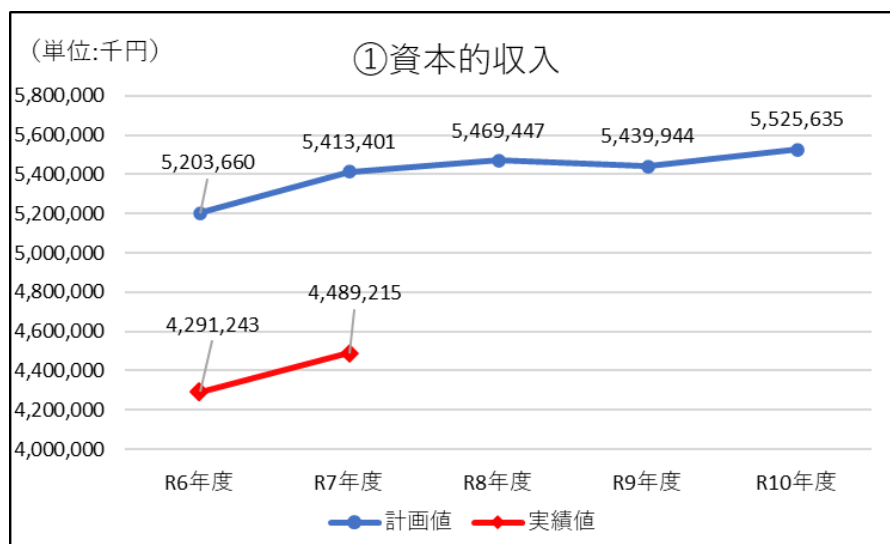
一方、支払利息は、計画値を上回りました。これは経営戦略策定の試算の際に想定していた企業債の借入利率（償還期間 40 年：利率 1.6％、償還期間 20 年：1.1％、償還期間 10 年：0.5％）に対し、実際の借入利率が上回ったことによるものです。現在の市場動向を見る限り金利は上昇傾向にあり、今後も支払利息は計画値を上回る値となる見込であるため、引き続き計画値と実績値の乖離を十分注視していきます。

(2)資本的収支

①資本的收入

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	5,203,660	5,413,401	5,469,447	5,439,944	5,525,635
※内訳 (公共)	4,021,495	4,075,700	4,095,679	4,193,091	4,238,917
(特環)	726,992	1,026,902	1,048,766	979,081	1,011,346
(農排)	452,958	308,544	322,706	265,434	272,992
(小排)	2,215	2,255	2,296	2,338	2,380
実績値 (合算)	4,291,243	4,489,215			
※内訳 (公共)	3,245,714	3,329,203			
(特環)	741,007	766,961			
(農排)	302,367	390,783			
(小排)	2,155	2,268			



【説明】

資本的收入については、計画値を大きく下回りました。これは工事の一部を次年度に繰り越したこと等により、令和7年度の建設改良費の投資額が当初見込んだ計画値より少なくなり、資本的收入の企業債借入額や国（県）補助金が減となったことが主な要因です。

②資本的支出

(単位:千円)

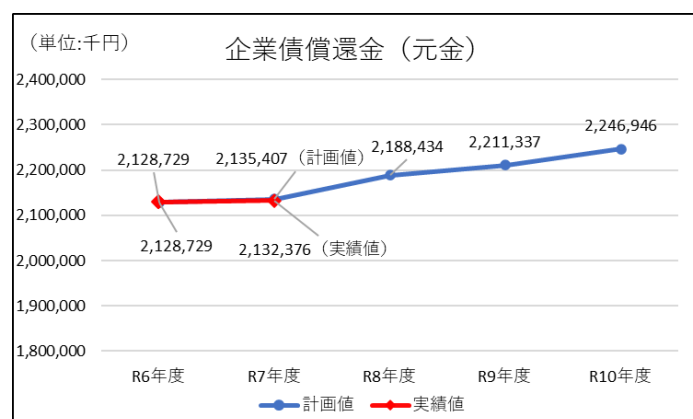
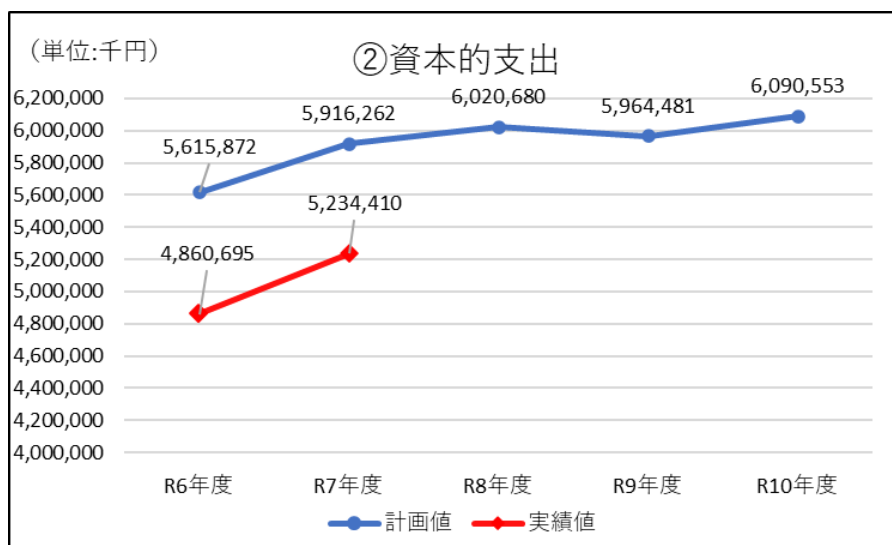
年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	5,615,872	5,916,262	6,020,680	5,964,481	6,090,553
※内訳 (公共)	4,266,588	4,406,540	4,467,136	4,542,627	4,630,684
(特環)	867,797	1,184,262	1,206,410	1,136,519	1,168,049
(農排)	479,272	323,205	344,838	282,997	289,440
(小排)	2,215	2,255	2,296	2,338	2,380
実績値 (合算)	4,860,695	5,234,410			
※内訳 (公共)	3,645,399	3,921,880			
(特環)	871,809	875,356			
(農排)	341,272	434,863			
(小排)	2,215	2,311			

※資本的支出の内訳

企業債償還金 (元金)

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	2,128,729	2,135,407	2,188,434	2,211,337	2,246,946
※内訳 (公共)	1,475,111	1,502,262	1,524,409	1,575,795	1,610,434
(特環)	404,097	415,536	435,436	444,406	452,880
(農排)	247,306	215,354	226,293	188,798	181,252
(小排)	2,215	2,255	2,296	2,338	2,380
実績値 (合算)	2,128,729	2,132,376			
※内訳 (公共)	1,475,111	1,501,485			
(特環)	404,097	414,403			
(農排)	247,306	214,233			
(小排)	2,215	2,255			



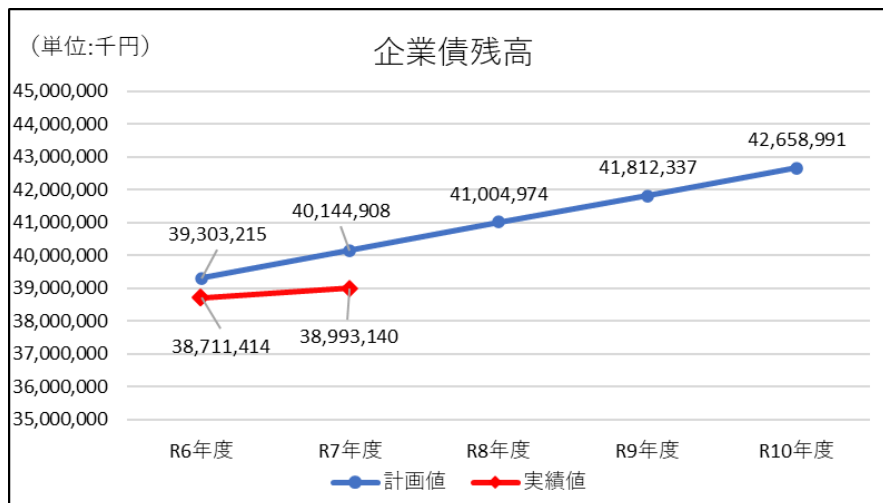
【説明】

資本的支出については計画値を大きく下回りました。これは工事の一部を次年度に繰り越した事等により、令和7年度の建設改良費の投資額が当初見込んだ計画値より少なくなったことが要因です。なお、資本的支出の要素のうち、企業債償還金(元金)については、計画値を下回る額となっています。

(3)企業債残高

(単位:千円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値 (合算)	39,303,215	40,144,908	41,004,974	41,812,337	42,658,991
※内訳 (公共)	28,369,392	29,557,816	30,478,307	31,544,391	32,469,157
(特環)	8,221,532	8,353,096	8,463,360	8,501,654	8,555,174
(農排)	2,670,256	2,194,216	2,025,823	1,731,146	1,601,894
(小排)	42,035	39,780	37,484	35,146	32,766
実績値 (合算)	38,711,414	38,993,140			
※内訳 (公共)	27,842,892	28,638,793			
(特環)	8,220,832	8,122,930			
(農排)	2,605,655	2,191,637			
(小排)	42,035	39,780			



【説明】

企業債残高については、計画値を下回りました。これは、工事の一部を次年度に繰り越したこと等により、当該年度の建設改良費の支出額が当初計画値を下回り、企業債借入額も計画値を下回ったことが要因です。計画値を下回るものの依然として大きい額であり、過度の借入は事業経営を圧迫することから、借入の抑制に引き続き努めます。

5. 経営戦略の目標指標の状況

(1)汚水処理人口普及率

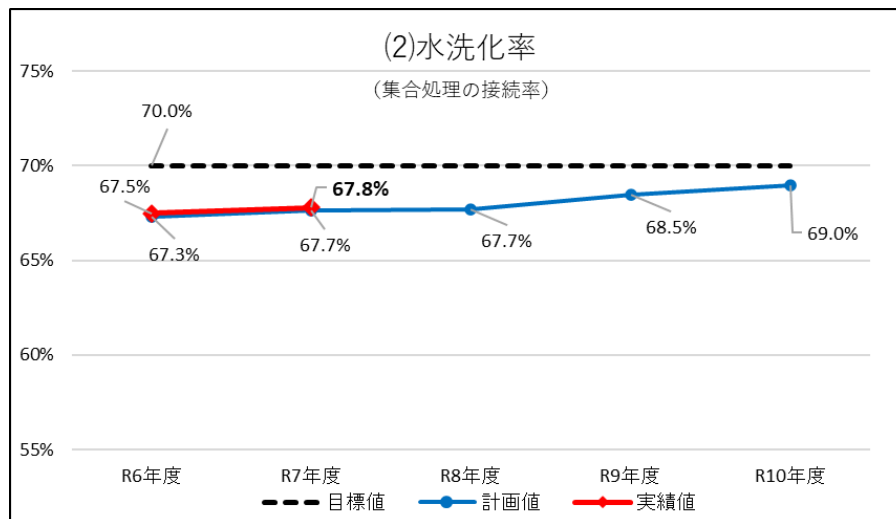
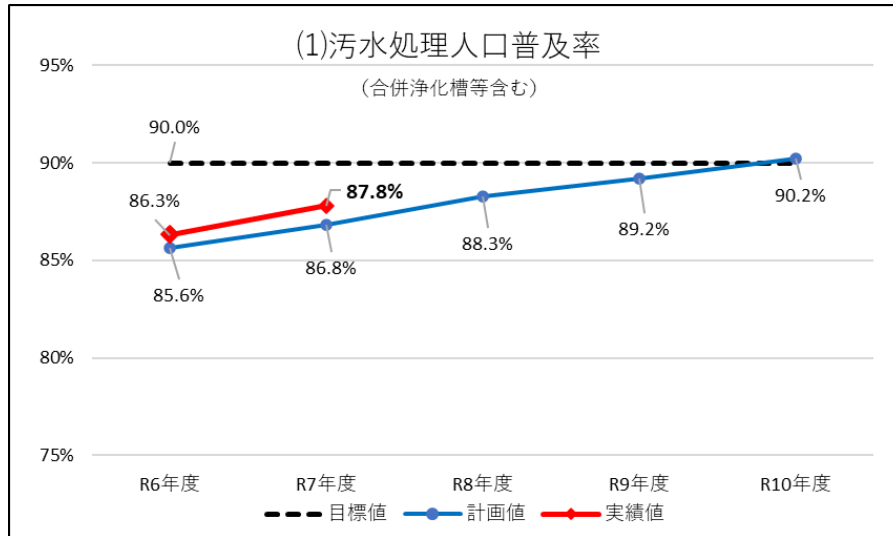
下水道、農業集落排水施設等及び合併処理浄化槽の汚水処理施設で処理している人口の割合を表した指標

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	85.6%	86.8%	88.3%	89.2%	90.2%
実績値	86.3%	87.8%			
目標値	90.0%				

(2)水洗化率

現在処理区域内人口のうち、実際に下水道に接続して汚水処理している人口の割合を表した指標

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	67.3%	67.7%	67.7%	68.5%	69.0%
実績値	67.5%	67.8%			
目標値	70.0%				



【説明】

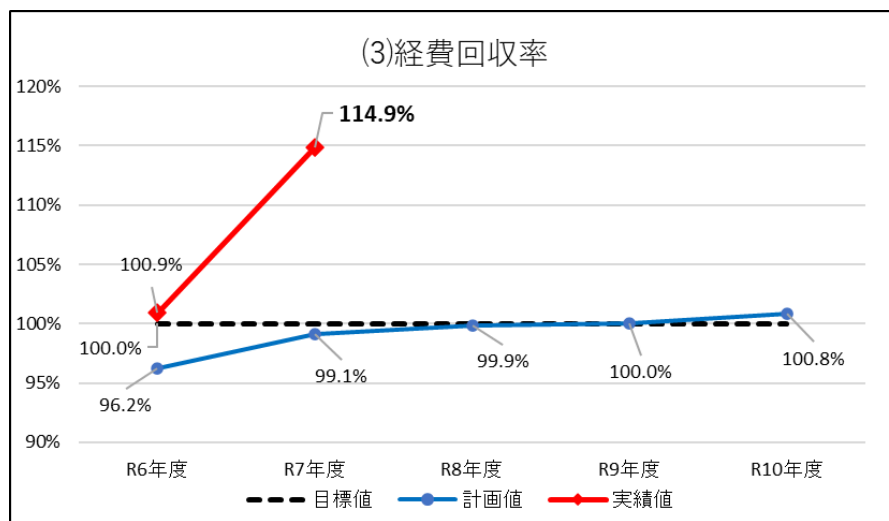
汚水処理人口普及率と水洗化率のいずれも、計画値を上回る値になりました。このことから、現在行っている下水道未普及整備工事と、整備後の新規接続件数について、一定の進捗がみられます。

今後も目標値を目指し、引き続き未普及対策事業と接続促進活動を継続していきます。

(3)経費回収率

使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	96.2%	99.1%	99.9%	100.0%	100.8%
※内訳 (公共)	100.0%	101.6%	102.6%	101.1%	102.1%
(特環)	95.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
(農排)	65.7%	71.1%	70.8%	86.6%	86.4%
(小排)	65.3%	64.7%	64.5%	67.0%	68.3%
実績値	100.9%	114.9%			
※内訳 (公共)	104.3%	122.9%			
(特環)	97.6%	99.3%			
(農排)	75.4%	82.4%			
(小排)	51.0%	48.9%			
目標値	100.0%				



【説明】

経費回収率については、114.9%（4事業合算の値）となり、計画値を上回りました。目標値の100%を上回りましたが、事業別に見ると100%を超えているのは公共下水道事業のみであり、その公共下水道事業の値についても、収益的収入の他会計繰入金（基準内）による影響が大きいです。引き続き経費回収率100%以上を維持できるよう、収支のバランスを注視して事業を行っていきます。

(4)他会計繰入金

地方公営企業の経営基盤を強化するための財政措置（基準内繰入金）及び収入不足を補うもの（基準外繰入金）として、一般会計から繰り入れている財源

（単位：千円）

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 支 分	計画値	741,267	783,859	825,111	781,764	787,420
	うち基準内繰入金	697,091	761,682	802,731	772,509	778,074
	うち基準外繰入金	44,176	22,177	22,380	9,255	9,346
	実績値	745,527	866,246			
	うち基準内繰入金	718,060	854,241			
	うち基準外繰入金	27,467	12,005			
資 本 的 収 支 分	計画値	1,359,673	1,317,081	1,275,829	1,319,176	1,313,520
	うち基準内繰入金	185,739	181,605	181,555	189,232	176,729
	うち基準外繰入金	1,173,934	1,135,476	1,094,274	1,129,944	1,136,791
	実績値	1,355,898	1,235,574			
	うち基準内繰入金	186,009	182,332			
	うち基準外繰入金	1,169,889	1,053,242			
合 計	計画値	2,100,940	2,100,940	2,100,940	2,100,940	2,100,940
	うち基準内繰入金	882,830	943,287	984,286	961,741	954,803
	うち基準外繰入金	1,218,110	1,157,653	1,116,654	1,139,199	1,146,137
	実績値	2,101,425	2,101,820			
	うち基準内繰入金	904,069	1,036,573			
	うち基準外繰入金	1,197,356	1,065,247			

※合算会計の値（事業ごとの値については巻末に掲載）

(5)資本費平準化債

財源を補填するために借り入れた資本費平準化債の額

（単位：千円）

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	400,000	400,000	450,000	450,000	450,000
実績値	300,000	270,000			

【説明】

他会計繰入金総額の予算規模は計画値と同規模で、そのうち基準外繰入金については、計画値を下回りました。基準内繰入金の収入決算額が計画値を上回ったこと等により、基準外繰入金の収入決算額が計画値より少なくなったものです。

また、資本費平準化債の借入額については、計画値を下回りました。資本費平準化債は事業を運営する上で必要な財源ですが、過大な借入は後年度の利息負担が大きくなるため、適正額を都度見極めていきます。

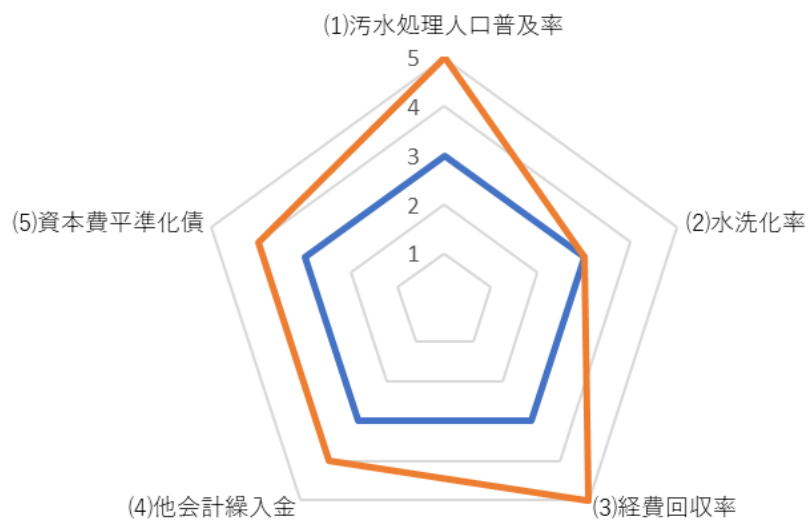
【目標指標の達成状況】

以上の(1)から(5)の目標指標の達成状況について、評価基準を次のように設定し、評価を行いました。

目標指標	評価基準	実績値/計画値 の比	令和7年度の 評価値
(1)汚水処理人口普及率	実績値/計画値 の比が 101%以上 : 5	101.2%	5
(2)水洗化率	100.5%以上 101%未満 : 4 100%以上 100.5%未満 : 3	100.1%	3
(3)経費回収率	99%以上 100%未満 : 2 99%未満 : 1	115.9%	5
(4)他会計繰入金	他会計繰入金のうち、基準外繰入金の 実績値/計画値 の比が 0% : 5 0%より大きく 95%未満 : 4 95%以上 100%以下 : 3 100%より大きく 105%未満 : 2 105%以上 : 1	92.1%	4
(5)資本費平準化債	実績値/計画値の比が 0% : 5 0%より大きく 80%未満 : 4 80%以上 100%以下 : 3 100%より大きく 125%未満 : 2 125%以上 : 1	67.5%	4

目標指標の達成状況

— R7計画値 — R7実績値



6. 総括

収益的収入については計画に比べ 110,856 千円上回り、収益的支出については計画に比べ 30,559 千円下回り、経常利益は計画より大きくなりました。これは他会計補助金（基準内繰入金）など営業外収益の増が主な要因ですが、使用料収入についても計画値を 19,069 千円上回っています。

資本的収入については計画に比べ 924,186 千円下回り、資本的支出については計画に比べ 681,852 千円下回りました。これは工事の一部を次年度に繰り越したこと等により、令和 7 年度の建設改良費の投資額が当初見込んだ計画値より少なくなり、その財源である企業債や国（県）補助金も減となったことなどが要因です。

投資・財政計画の主な項目の推移をみると、経費（施設の維持管理経費）や減価償却費では計画値を下回っていますが、支払利息では経営戦略策定時よりも借入利率が上昇した影響によって昨年度に続いて計画値を上回りました。人件費や物価についても戦略策定時の予測以上に上昇傾向にあることから、今後は経費（施設の維持管理経費）についても増大が見込まれます。また、企業債残高は計画値との比較で下回っていますが、下水道の建設事業の財源を企業債の新規借入に求める状況は今後も続き、未普及整備事業が完了するまでの間は、企業債残高及び毎年度の企業債償還額が漸増していくことが見込まれるため、引き続き注視していきます。

経営戦略の目標指標については、「経費回収率」が健全経営の水準である 100%を超えています。また、「汚水処理人口普及率」・「水洗化率」については、現在本市で行っている未普及整備の成果として、順調に数値の上昇がみられます。掲げた目標値を達成できるよう、引き続き未普及整備の取組を続けていきます。

収入と支出の適正なバランスをとりながら事業を継続していくため、今後も適切な経営分析を行い、健全な事業運営に取り組んでいきます。

【資料】投資・財政計画 計画値・決算値比較（事業別）

7 ページに掲載した投資・財政計画の計画値と決算値の比較（合算会計）について、4 事業（公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、小規模集合排水処理）ごとの投資・財政計画の値を資料として掲載します。

公共下水道事業				(単位:千円)			
年 度				R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)	
区 分							
収 益 的 収 入	収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)		781,963	811,938	29,975	
		(1) 料 金 収 入		771,165	801,052	29,887	
		(2) 受託工事収益 (B)					
		(3) そ の 他		10,798	10,886	88	
		2. 営 業 外 収 益		1,564,663	1,655,637	90,974	
		(1) 補 助 金		453,419	544,503	91,084	
		他 会 計 補 助 金		451,209	541,803	90,594	
		そ の 他 補 助 金		2,210	2,700	490	
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入		1,111,244	1,106,908	△ 4,336	
	(3) そ の 他			4,226	4,226		
	収 入 計 (C)		2,346,626	2,467,575	120,949		
	収 益 的 支 出	収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用		1,963,342	1,939,625	△ 23,717
			(1) 職 員 給 与 費	114,598	123,519	8,921	
				基 本 給	52,089	56,452	4,363
				退 職 給 付 費	8,504	10,133	1,629
そ の 他				54,005	56,934	2,929	
(2) 経 費			403,506	390,790	△ 12,716		
			動 力 費	9,323	9,718	395	
			修 繕 費	1,160	1,686	526	
			材 料 費	123	134	11	
そ の 他			392,900	379,252	△ 13,648		
(3) 減 価 償 却 費			1,445,238	1,425,316	△ 19,922		
2. 営 業 外 費 用			368,860	370,726	1,866		
(1) 支 払 利 息		368,594	370,240	1,646			
(2) そ の 他		266	486	220			
支 出 計 (D)		2,332,202	2,310,351	△ 21,851			
経 常 損 益 (C)－(D) (E)		14,424	157,224	142,800			
特 別 利 益 (F)					26,576	26,576	
特 別 損 失 (G)					1,384	1,384	
特 別 損 益 (F)－(G) (H)					25,192	25,192	
当年度純利益(又は純損失) (E)＋(H)				14,424	182,416	167,992	

公共下水道事業

(単位:千円)

年 度			R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)
区 分					
資本的収入 資本的支出	資本的収入	1. 企 業 債	2,377,000	1,983,700	△ 393,300
		うち 資 本 費 平 準 化 債	400,000	270,000	△ 130,000
		2. 他 会 計 出 資 金			
		3. 他 会 計 補 助 金	867,690	761,129	△ 106,561
		4. 他 会 計 負 担 金			
		5. 他 会 計 借 入 金			
		6. 国（都道府県）補 助 金	750,030	483,696	△ 266,334
		7. 固 定 資 産 売 却 代 金			
		8. 工 事 負 担 金	80,980	100,678	19,698
		9. そ の 他			
		計 (A)	4,075,700	3,329,203	△ 746,497
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)				
	純 計 (A)－(B) (C)	4,075,700	3,329,203	△ 746,497	
	資本的支出	1. 建 設 改 良 費	2,904,278	2,420,395	△ 483,883
		うち 職 員 給 与 費	92,078	78,252	△ 13,826
		2. 企 業 債 償 還 金	1,502,262	1,501,485	△ 777
		3. 他会計長期借入返還金			
		4. 他 会 計 へ の 支 出 金			
		5. そ の 他			
計 (D)		4,406,540	3,921,880	△ 484,660	
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)－(C) (E)		330,840	592,677	261,837	
補填財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	195,679	388,960	193,281	
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額				
	3. 積 立 金 取 崩 し 額		70,000	70,000	
	4. 繰 越 工 事 資 金				
	5. そ の 他	135,161	133,717	△ 1,444	
	計 (F)	330,840	592,677	261,837	
補 填 財 源 不 足 額 (E)－(F)					
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)					
企 業 債 残 高 (H)		29,557,816	28,638,793	△ 919,023	

○他会計繰入金

区 分 \ 年 度		R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)
収 益 の 収 支 分		462,007	552,644	90,637
	うち基準内繰入金	462,007	552,644	90,637
	うち基準外繰入金			
資 本 の 収 支 分		867,690	761,129	△ 106,561
	うち基準内繰入金	143,791	144,516	725
	うち基準外繰入金	723,899	616,613	△ 107,286
合 計		1,329,697	1,313,773	△ 15,924

特定環境保全公共下水道事業

(単位:千円)

年 度			R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)
区 分					
収 益 的 収 入	収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)	209,384	200,295	△ 9,089
		(1) 料 金 収 入	209,121	200,033	△ 9,088
		(2) 受託工事収益 (B)			
		(3) そ の 他	263	262	△ 1
		2. 営 業 外 収 益	669,770	671,026	1,256
		(1) 補 助 金	241,428	241,748	320
		他 会 計 補 助 金	241,428	241,748	320
		そ の 他 補 助 金			
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	428,342	429,231	889
		(3) そ の 他		47	47
収 入 計 (C)		879,154	871,321	△ 7,833	
収 益 的 支 出	収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用	762,829	753,933	△ 8,896
		(1) 職 員 給 与 費			
		基 本 給			
		退 職 給 付 費			
		そ の 他			
		(2) 経 費	206,234	200,215	△ 6,019
		動 力 費	32,137	28,591	△ 3,546
		修 繕 費	1,976	1,569	△ 407
		材 料 費			
		そ の 他	172,121	170,055	△ 2,066
(3) 減 価 償 却 費	556,595	553,718	△ 2,877		
2. 営 業 外 費 用		115,333	118,071	2,738	
(1) 支 払 利 息	115,325	117,882	2,557		
(2) そ の 他	8	189	181		
支 出 計 (D)		878,162	872,004	△ 6,158	
経 常 損 益 (C)－(D) (E)		992	△ 683	△ 1,675	
特 別 利 益 (F)			1,222	1,222	
特 別 損 失 (G)			39	39	
特 別 損 益 (F)－(G) (H)			1,183	1,183	
当年度純利益(又は純損失) (E)+(H)		992	500	△ 492	

特定環境保全公共下水道事業

(単位:千円)

年 度		R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)	
区 分					
資 本 的 収 入 支 出	資 本 的 収 入	1. 企 業 債	547,100	316,500	△ 230,600
		うち資本費平準化債			
		2. 他 会 計 出 資 金			
		3. 他 会 計 補 助 金	258,682	312,676	53,994
		4. 他 会 計 負 担 金			
		5. 他 会 計 借 入 金			
		6. 国（都道府県）補助金	213,000	119,674	△ 93,326
		7. 固 定 資 産 売 却 代 金			
		8. 工 事 負 担 金	8,120	18,111	9,991
		9. そ の 他			
		計 (A)	1,026,902	766,961	△ 259,941
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)			
		純 計 (A)－(B) (C)	1,026,902	766,961	△ 259,941
	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	768,726	460,953	△ 307,773
		うち職員給与費			
		2. 企 業 債 償 還 金	415,536	414,403	△ 1,133
		3. 他会計長期借入返還金			
		4. 他 会 計 へ の 支 出 金			
		5. そ の 他			
		計 (D)	1,184,262	875,356	△ 308,906
	資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)		157,360	108,395	△ 48,965
	補 填 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	119,067	98,395	△ 20,672
		2. 利 益 剰 余 金 処 分 額			
		3. 積 立 金 取 崩 し 額		10,000	10,000
		4. 繰 越 工 事 資 金			
		5. そ の 他	38,293		△ 38,293
		計 (F)	157,360	108,395	△ 48,965
補填財源不足額 (E)－(F)					
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)					
企 業 債 残 高 (H)		8,353,096	8,122,930	△ 230,166	

○他会計繰入金

年 度		R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B-A)
区 分				
収 益 的 収 支 分		241,691	242,010	319
	うち基準内繰入金	240,691	241,310	619
	うち基準外繰入金	1,000	700	△ 300
資 本 的 収 支 分		258,682	312,676	53,994
	うち基準内繰入金	8,682	8,683	1
	うち基準外繰入金	250,000	303,993	53,993
合 計		500,373	554,686	54,313

農業集落排水事業

区 分		年 度	R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B-A)
収 益 的 収 入 収 益 的 支 出	収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)	51,642	49,948	△ 1,694
		(1) 料 金 収 入	51,642	49,948	△ 1,694
		(2) 受託工事収益 (B)			
		(3) そ の 他			
		2. 営 業 外 収 益	275,782	275,125	△ 657
		(1) 補 助 金	79,201	70,505	△ 8,696
		他 会 計 補 助 金	79,201	70,505	△ 8,696
		そ の 他 補 助 金			
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	196,581	204,587	8,006
		(3) そ の 他		33	33
		収 入 計 (C)	327,424	325,073	△ 2,351
	収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用	290,775	289,470	△ 1,305
		(1) 職 員 給 与 費			
		基 本 給			
		退 職 給 付 費			
		そ の 他			
		(2) 経 費	70,120	72,805	2,685
		動 力 費	18,751	16,311	△ 2,440
		修 繕 費	1,008	422	△ 586
		材 料 費			
		そ の 他	50,361	56,072	5,711
		(3) 減 価 償 却 費	220,655	216,665	△ 3,990
	支 出	2. 営 業 外 費 用	36,599	35,267	△ 1,332
		(1) 支 払 利 息	34,127	34,359	232
		(2) そ の 他	2,472	908	△ 1,564
		支 出 計 (D)	327,374	324,737	△ 2,637
	経 常 損 益 (C)-(D) (E)		50	336	286
	特 別 利 益 (F)				
	特 別 損 失 (G)			144	144
	特 別 損 益 (F)-(G) (H)			△ 144	△ 144
	当年度純利益(又は純損失) (E)+(H)		50	192	142

農業集落排水事業

(単位:千円)

年 度 区 分		R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差 引 (B－A)	
資本的収入 資本的支出	資本的収入	1. 企 業 債	53,000	113,900	60,900
		うち資本費平準化債			
		2. 他 会 計 出 資 金			
		3. 他 会 計 補 助 金	188,454	159,501	△ 28,953
		4. 他 会 計 負 担 金			
		5. 他 会 計 借 入 金			
		6. 国（都道府県）補助金	56,590	105,884	49,294
		7. 固定資産売却代金			
		8. 工 事 負 担 金	500	1,498	998
		9. そ の 他	10,000	10,000	
		計 (A)	308,544	390,783	82,239
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)			
		純 計 (A)－(B) (C)	308,544	390,783	82,239
	資本的支出	1. 建 設 改 良 費	107,851	220,630	112,779
		うち職員給与費			
		2. 企 業 債 償 還 金	215,354	214,233	△ 1,121
		3. 他会計長期借入返還金			
		4. 他 会 計 へ の 支 出 金			
		5. そ の 他			
		計 (D)	323,205	434,863	111,658
	資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (E)		14,661	44,080	29,419
	補填財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	14,661	44,080	29,419
		2. 利 益 剰 余 金 処 分 額			
		3. 積 立 金 取 崩 し 額			
		4. 繰 越 工 事 資 金			
		5. そ の 他			
		計 (F)	14,661	44,080	29,419
補填財源不足額 (E)－(F)					
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)					
企 業 債 残 高 (H)		2,194,216	2,191,637	△ 2,579	

○他会計繰入金

区 分 \ 年 度		R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)
収 益 的 収 支 分		79,201	70,505	△ 8,696
	うち 基 準 内 繰 入 金	58,201	59,505	1,304
	うち 基 準 外 繰 入 金	21,000	11,000	△ 10,000
資 本 的 収 支 分		188,454	159,501	△ 28,953
	うち 基 準 内 繰 入 金	28,454	28,455	1
	うち 基 準 外 繰 入 金	160,000	131,046	△ 28,954
合 計		267,655	230,006	△ 37,649

小規模集合排水処理事業

(単位:千円)

年 度			R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)		
区 分							
収 益 的 収 入	収 益	1. 営 業 収 益 (A)	323	287	△ 36		
		(1) 料 金 収 入	323	287	△ 36		
		(2) 受 託 工 事 収 益 (B)					
		(3) そ の 他					
		2. 営 業 外 収 益	2,874	3,001	127		
		(1) 補 助 金	960	1,087	127		
		他 会 計 補 助 金	960	1,087	127		
		そ の 他 補 助 金					
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	1,914	1,914			
	(3) そ の 他						
	収 入 計 (C)	3,197	3,288	91			
	収 益 的 支 出	支 出	1. 営 業 費 用	2,432	2,510	78	
			(1) 職 員 給 与 費				
				基 本 給 与 費			
				退 職 給 付 費			
そ の 他							
(2) 経 費			481	559	78		
			動 力 費	108	101	△ 7	
			修 繕 費		4	4	
			材 料 費				
そ の 他		373	454	81			
(3) 減 価 償 却 費		1,951	1,951				
2. 営 業 外 費 用	764	773	9				
(1) 支 払 利 息	745	745					
(2) そ の 他	19	28	9				
支 出 計 (D)	3,196	3,283	87				
経 常 損 益 (C)－(D) (E)			1	5	4		
特 別 利 益 (F)							
特 別 損 失 (G)							
特 別 損 益 (F)－(G) (H)							
当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)＋(H)			1	5	4		

小規模集合排水処理事業

(単位:千円)

年 度			R7年度 (計画値)A	R7年度 (決算値)B	差引 (B－A)
区 分					
資 本 的 収 入 資 本 的 支 出	資 本 的 収 入	1. 企 業 債			
		うち 資本費平準化債			
		2. 他 会 計 出 資 金			
		3. 他 会 計 補 助 金	2,255	2,268	13
		4. 他 会 計 負 担 金			
		5. 他 会 計 借 入 金			
		6. 国（都道府県）補助金			
		7. 固 定 資 産 売 却 代 金			
		8. 工 事 負 担 金			
		9. そ の 他			
		計 (A)	2,255	2,268	13
		(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)			
	純 計 (A)－(B) (C)	2,255	2,268	13	
	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費		56	56
		うち 職員給与費			
		2. 企 業 債 償 還 金	2,255	2,255	
		3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金			
		4. 他 会 計 へ の 支 出 金			
		5. そ の 他			
		計 (D)	2,255	2,311	56
		資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)－(C) (E)			43
補 填 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金		43	43	
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額				
	3. 積 立 金 取 崩 し 額				
	4. 繰 越 工 事 資 金				
	5. そ の 他				
	計 (F)		43	43	
補 填 財 源 不 足 額 (E)－(F)					
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)					
企 業 債 残 高 (H)		39,780	39,780		

○他会計繰入金

年 度		R7年度	R7年度 (決算値)B	差引 (B-A)
区 分				
収 益 的 収 支 分		960	1,087	127
	うち 基準内繰入金	783	782	△ 1
	うち 基準外繰入金	177	305	128
資 本 的 収 支 分		2,255	2,268	13
	うち 基準内繰入金	678	678	
	うち 基準外繰入金	1,577	1,590	13
合 計		3,215	3,355	140

【資料】目標指標(4) 他会計繰入金 計画値・実績値検証（事業別）

17ページに掲載した他会計繰入金の計画値と決算値の検証（合算会計）について、4事業（公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業、小規模集合排水処理）ごとの値を資料として掲載します。

①公共下水道事業

（単位：千円）

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 支 分	計画値	401,933	462,007	500,062	487,658	494,405
	うち基準内繰入金	401,933	462,007	500,062	487,658	494,405
	うち基準外繰入金	0	0	0	0	0
	実績値	405,582	552,644			
	うち基準内繰入金	405,582	552,644			
	うち基準外繰入金	0	0			
資 本 的 収 支 分	計画値	890,836	867,690	798,867	865,539	855,649
	うち基準内繰入金	148,451	143,791	146,199	157,230	150,522
	うち基準外繰入金	742,385	723,899	652,668	708,309	705,127
	実績値	898,573	761,129			
	うち基準内繰入金	148,720	144,516			
	うち基準外繰入金	749,853	616,613			
合 計	計画値	1,292,769	1,329,697	1,298,929	1,353,197	1,350,054
	うち基準内繰入金	550,384	605,798	646,261	644,888	644,927
	うち基準外繰入金	742,385	723,899	652,668	708,309	705,127
	実績値	1,304,155	1,313,773			
	うち基準内繰入金	554,302	697,160			
	うち基準外繰入金	749,853	616,613			

②特定環境保全公共下水道事業

（単位：千円）

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 支 分	計画値	240,815	241,691	246,068	238,249	240,087
	うち基準内繰入金	228,815	240,691	245,068	237,249	239,087
	うち基準外繰入金	12,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績値	247,537	242,010			
	うち基準内繰入金	238,068	241,310			
	うち基準外繰入金	9,469	700			
資 本 的 収 支 分	計画値	253,547	258,682	278,350	287,640	297,079
	うち基準内繰入金	8,547	8,682	8,350	7,640	7,079
	うち基準外繰入金	245,000	250,000	270,000	280,000	290,000
	実績値	266,147	312,676			
	うち基準内繰入金	8,548	8,683			
	うち基準外繰入金	257,599	303,993			
合 計	計画値	494,362	500,373	524,418	525,889	537,166
	うち基準内繰入金	237,362	249,373	253,418	244,889	246,166
	うち基準外繰入金	257,000	251,000	271,000	281,000	291,000
	実績値	513,684	554,686			
	うち基準内繰入金	246,616	249,993			
	うち基準外繰入金	267,068	304,693			

③農業集落排水事業

(単位：千円)

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 支 分	計画値	97,521	79,201	78,059	54,978	52,088
	うち基準内繰入金	65,521	58,201	56,859	46,878	43,888
	うち基準外繰入金	32,000	21,000	21,200	8,100	8,200
	実績値	91,288	70,505			
	うち基準内繰入金	73,588	59,505			
	うち基準外繰入金	17,700	11,000			
資 本 的 収 支 分	計画値	213,075	188,454	196,316	163,659	158,412
	うち基準内繰入金	28,075	28,454	26,316	23,659	18,412
	うち基準外繰入金	185,000	160,000	170,000	140,000	140,000
	実績値	189,023	159,501			
	うち基準内繰入金	28,075	28,455			
	うち基準外繰入金	160,948	131,046			
合 計	計画値	310,596	267,655	274,375	218,637	210,500
	うち基準内繰入金	93,596	86,655	83,175	70,537	62,300
	うち基準外繰入金	217,000	181,000	191,200	148,100	148,200
	実績値	280,311	230,006			
	うち基準内繰入金	101,663	87,960			
	うち基準外繰入金	178,648	142,046			

④小規模集合排水処理事業

(単位：千円)

		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
収 益 的 収 支 分	計画値	998	960	922	879	840
	うち基準内繰入金	822	783	742	724	694
	うち基準外繰入金	176	177	180	155	146
	実績値	1,120	1,087			
	うち基準内繰入金	822	782			
	うち基準外繰入金	298	305			
資 本 的 収 支 分	計画値	2,215	2,255	2,296	2,338	2,380
	うち基準内繰入金	666	678	690	703	716
	うち基準外繰入金	1,549	1,577	1,606	1,635	1,664
	実績値	2,155	2,268			
	うち基準内繰入金	666	678			
	うち基準外繰入金	1,489	1,590			
合 計	計画値	3,213	3,215	3,218	3,217	3,220
	うち基準内繰入金	1,488	1,461	1,432	1,427	1,410
	うち基準外繰入金	1,725	1,754	1,786	1,790	1,810
	実績値	3,275	3,355			
	うち基準内繰入金	1,488	1,460			
	うち基準外繰入金	1,787	1,895			

【資料】下水道課職員数の推移

(単位：人)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
計画値	30	30	30	28	28
※内訳 (損益勘定)	17	17	17	16	16
(資本勘定)	13	13	13	12	12
実績値	29	29			
※内訳 (損益勘定)	17	17			
(資本勘定)	12	12			